



てきがいそう

荻外荘公園の 復元・整備工事が 始まりました



このえ ふみまろ
政治家 近衛文麿の別邸国の史跡にも指定

2024年12月に完成予定

隣に「展示休憩施設棟」も新設



<https://www.city.suginami.tokyo.jp/kyouiku/bunkazai/tekigaiso/fukugen/ouenkifu/1063671.html> ▶

荻窪駅南側の住宅街にある荻外荘は、総理大臣を3度務めた政治家 近衛文麿（このえふみまろ）の別邸で、昭和前期の政治の転換点となる会議を数多く行ったところ。日本政治史上重要な場所であることから、2016年に国の史跡に指定されています。杉並区は、当時の姿をよみがえらせ、2024年12月に史跡公園として公開する「荻外荘復元・整備プロジェクト」を進めており、その工事が現在進められています。また完成時には、隣地に展示休憩施設棟も整備され、来場される皆様の憩いの場にもなる予定です。



隈研吾建築都市設計事務所 展示休憩施設の完成イメージ図▶

景観とプライバシーを両立した 小鳥のさえずる屋敷林に

整備に伴い、景観やプライバシーに配慮した屋敷林にして欲しいとの住民の方の声を伺い、区の担当部署と交渉し、屋敷林の適正な保全を行なうことができました。



環境にやさしい、人にやさしい 「グリーンスローモビリティ」も運行へ

荻外荘、太田黒公園などめぐる「グリーンスローモビリティ」が近い将来運行される予定で、2022年11月に運行実証が行われました。「グリーンスローモビリティ」とは、

- ① 電気で動いて環境にやさしい
- ② 時速20km未満でゆっくり走る乗り物

オープンカースタイル、定員5名の小さな乗り物で、将来は高齢者の移動支援も視野に、まずは荻窪地域の来街者への活用を進めます。

また、運行予定の地域全体に時速30kmの速度規制を実施し、さらに安全性を高めるための物理的デバイス(人工的な凹凸などの道路の速度抑制構造)を組み合わせた新しい交通安全対策「ゾーン30プラス」が、都内では初めて推進されることが検討されています。

*人身事故で時速30kmを超えると一挙に死亡率が跳ね上がることから、速度抑制地域とする「ゾーン30」の名称に、「プラス」は速度制限に加え、物理的デバイスによって、より安全性を高める目的があります。



杉並区議会議員 渡辺ふじお 杉並区政報告 (FDつうしん) Vol.44

昭和34年5月22日生まれ 63歳 大分県出身/東京農業大学卒業
日産フィナンシャルサービスを経て、平成15年4月区議初当選/現5期
常任、特別委員会委員長等を歴任、現在 第82代区議会副議長
東京都宅地建物取引業協会杉並区支部顧問、杉並区陸上競技協会顧問

自宅事務所 〒166-0015 東京都杉並区成田東 5-3-15
TEL/FAX 03-5397-8799
HP <https://w240.net> E-mail info@w240.net



HP



Twitter



LINE

LINE登録
お願いします!

